



下東条小学校

学校だより 11月号(全国学力・学習状況調査編)



令和3年11月2日

全国学力・学習状況調査結果について

学校長 田中 直樹

凜とした空気の中に野山の彩りが鮮やかな季節になってまいりました。保護者の皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、本校の教育活動にお力添えをいただき誠にありがとうございます。

小学校から中学校にかけての9年間は、「人生の基盤をつくり、児童の可能性を見出し、成長させる」特に大切な時期だと考えております。児童一人ひとりが、社会の急激な変化に臨機応変に対応し、将来にわたり「夢や希望を持ち続けられる」生き方をめざして欲しいと願っています。そのためにも本人の自覚と自主性、また、周りの大人の役割が大きく影響してきます。今後も、共に支え合う関係づくりにご協力をお願いいたします。

本年度に小学6年生を対象に実施されました全国学力・学習状況について、本校児童の各教科並びに生活実態の検証結果のまとめができましたので、ご報告いたします。今後の「家庭教育」に生かしていただくことをお願いいたします。



国語

言語についての知識・技能は身につけているが、「書く力」や「読み取る力」などに課題がある。

- ◎文章の中の主語、述語を正しく選択できている。
- ◎漢字の書き取りはできている。
- ◎スピーチメモを活用して、スピーチの構成を考えることができる。
- △内容を読み取って、適切な資料を選択し説明することが苦手である。
- △文の中における修飾と被修飾との関係をとらえることが難しい。
- △中心となる語や文を見つけ、条件に合わせて要約することが難しい。



算数

基本的な知識・技能は身につけているが、思考・判断・表現に関する問題については課題がある。

- ◎速さを求める式の意味を正しく理解できている。
- ◎時刻・時間について理解できている。
- △図形やグラフ、表を読み取る問題で、公式は使えるが、求め方の説明は難しい。
- △グラフや表の読み取りが苦手である。



児童 質問紙

- ◎ほぼ規則正しい生活ができています。ほとんどの児童が毎日朝食をとっていると答えています。
- ◎自己肯定感が高く、夢や目標を持ち、やり遂げようと努力している児童が多かったです。
- ◎自分で計画を立て、家庭学習に取り組むことができています。
- ◎ICT機器の使用に関しては、授業でクロムブックを使っていることもあり、ほぼ毎日使っていると答えた児童が多く、積極的に活用できています。
- ◎学校での話し合い活動に意欲的に取り組んでいる様子が見られました。
- △テレビゲーム(スマートフォンを含む)の使用時間については課題があります。また読書の時間がやや少ないようなので、スマートフォンやゲームの時間を読書の時間にかえて取り組んでいきましょう。
- △新型コロナウイルスの感染拡大による休校期間中は、あまり規則正しい生活が送れていなかったようです。



学校では

そして

家庭では

- ① 国語では、学習のまとめや授業の振り返り作文などでテーマや字数等、条件を決めて記述する機会を多くし、少しずつその成果が出てきています。さらに、キーワードを用いたり、接続詞を適切に活用したりして、自分の考えをまとめる練習を続けます。朝学習では、対話スキルUPタイムを設定し、楽しみながら対話のスキルを高める学習を行っています。また、新刊図書の充実やおすすめの本の紹介など、読書を楽しむための学習環境を整備し、長文を最後まで読み切る力を育て、すすんで本に親しむ子どもの育成に努めます。
- ② 算数では、「なぜ、この公式を使うのか」「なぜ、その答えになるのか」という公式の意味を理解し、自分の考えを筋道を立てて説明できる力を身に付けさせることが大切と考えています。そのために、長文問題を読む中で、キーワードを図にかいたり、関係図をかいたりして、問題をイメージしながら考えることに取り組みせていきます。また、日常生活につながる実用的な図や表、グラフの見方・考え方を理解し、必要な情報だけを取り出し、整理、分類、比較し、問題解決できる学習を様々な場で取り入れます。
- ③ どの教科でも、今日の学習の目標を確認することや学習の振り返りを行っています。子ども自身が自分の考えを持ってみんなの意見を聞き、学習を深めることができるように工夫しています。また、考えの根拠や理由がわかるように、自分の考えを説明する活動や書く活動をさらに充実させていきます。
- ④ 朝学習、放課後の補充学習、同室複数指導、授業はじめの復習等の充実
(対話スキルUPタイム・スマイルチャレンジ)
・分からないときにはわかるまで尋ねる態度の育成をしています。
- ⑤ 「家庭学習のすすめ」による学習の習慣化 ※学期ごとに学習の進み具合のチェックを!
・教科書を使っての予習や復習、テスト勉強の計画の立て方や仕方を指導しています。
・家庭学習の仕方を指導し、見通しを持った計画的な学習を大切にしています。
家庭学習の目安は、 低学年・・・15～30分 中学年・・・30～60分 高学年・・・60～90分
・縦割り班によるなかよし学習で、自学ノートを交換したり、お手本となるノートを教室や廊下に掲示したりしています。
- ⑥ ノーインターネットの日と読書活動の充実・道徳性の育成
・なかよし読書では、子ども同士の読み聞かせ会を行っています。
・ノーインターネットの日を設定し、ふぁみりー読書に取り組み、読書習慣の確立を目指します。
・ふぁみりー道徳を実施し、学校と家庭が連携し、道徳性の育成を行っています。

“読書習慣が脳を変える！”

- ⑦ ゲーム・スマホやTVの時間についてのルール作り
・学習に集中できる環境づくりをお願いします。
・時間は、必ず親子で話し合ってください。
・睡眠不足や学習への悪影響について十分に話し合ってください。



児童質問紙と学力の関係では、「朝食を毎日食べる。」「スマホやゲームの使用時間が少ない。」「普段から読書をしている。」等が大切であり、規則正しい生活や読書習慣と学力との相関関係が高い傾向にあることがわかりました。家庭での安定した生活習慣が土台となり、児童の学習習慣、規範意識、自己有用感が育ってきています。

学習の成果は、子どもたちの心が安定していればさらに上がります。子どもたち一人一人に温かいまなざしを注ぎ、頑張っていることを褒め伸ばしていきたいものです。子どもたちが困っているとき、悩んでいるときには「頼られる大人」「支えられる大人」として、今後も、学校・家庭・地域が連携し、児童が心豊かで健全に育っていきますように、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。